

## 平成 26 年度第 2 回岐阜県重症心身障がい児者支援連携会議 議事概要

○日時：平成 27 年 3 月 24 日(火) 18:00～19:45

○場所：ふれあい福寿会館 409 会議室

○出席者： (敬称略)

所属・職名	氏名
岐阜県医師会 常務理事	矢嶋 茂裕
国立大学法人岐阜大学大学院医学系研究科 障がい児者医療学寄附講座 准教授	西村 悟子
独立行政法人国立病院機構長良医療センター 臨床研究部長	金子 英雄
独立行政法人国立病院機構長良医療センター 療育指導室長	愛田 弘美
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 新生児内科部長	河野 芳功
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 小児科部長	今村 淳
岐阜県立希望が丘学園 主任医長	内木 洋子
岐阜県立希望が丘学園 事務局長	吉田 茂喜
大垣市民病院 新生児未熟児センター 認定看護管理者 師長	服部 京子
公益社団法人岐阜県看護協会 常務理事	小谷 美重子
訪問看護ステーションやすらぎ 理学療法士	西脇 雅
社会福祉法人あゆみの家 施設長	田口 道治
特定非営利活動法人在宅支援グループみんなの手 代表	渡邊 麻奈美
岐阜市障害者生活支援センター 所長	臼井 隆雄
岐阜市 福祉部 福祉事務所 障がい福祉課長(代理出席:支援係長・野々村 豊子)	高木 健一
岐阜県健康福祉部次長	土井 充行
医療整備課長	林 哲
医療整備課 看護企画監	岡田 昌子
保健医療課長	有賀 玲子
保健医療課 母子保健係長	赤尾 典子
障害福祉課 基盤整備企画監	山田 恭
障害福祉課 重症心身・発達障がい支援係長	山脇 裕之
地域医療推進課 障がい児者医療推進室長	都竹 淳也
地域医療推進課 障がい児者医療推進室 障がい児者医療推進係長	山田 育康
地域医療推進課 障がい児者医療推進室 障がい児者医療推進係主査	藤川 祐樹

## 開 会

開会あいさつ（健康福祉部次長）

## 議 事

### 1 重症心身障がい児者実態調査結果（速報）について

#### ○資料説明

資料1 重症心身障がい児者実態調査結果（速報）について

#### ○質疑・意見交換

- ・医療サービスの利用状況について、保護者の方からは、いろいろなサービスを使いたいけど使えないという声が多く、患者のニーズに合っていないサービスがあるのだと思う。  
→記入されていた保護者の「声」の部分は重要だと考えている。今後、コメントと結果をクロスして分析していくと、医療依存度は高くなくても支援ニーズは高い方など、傾向が見えてくると思う。
- ・今後、継続的にデータを見ていく場合に発症時期のデータがないと、例えば5年後に単純に5歳年齢が上がっているだけなのか、途中発症の方や、亡くなられる方などで変化しているかの分析が難しいのではないかと。  
→次回の調査時には、国勢調査のように「5年前の状況」を訊ねるなどの工夫をして、できるだけ継続的な分析ができるようにしたい。

### 2 平成27年度重症心身障がい児者支援施策について

#### ○資料説明

資料2 平成27年度重症心身障がい児者支援施策について

資料2（参考）岐阜県の重症心身障がい児者支援施策

#### ○質疑・意見交換

（希望が丘学園における重症心身障がい児者の計画相談業務について）

- ・県として重症心身障がいの方の計画相談は希望が丘に集中させる方針であるのか。  
→医療支援が必要な方の計画を作ることができる機関は少ないので、重症心身障がいの方についてはできる限り希望が丘で計画づくりを進めていきたいと考えている。
- ・希望が丘と県総合の位置づけについて、これまで、人口呼吸器の方は希望が丘の利用が難しいという話であったが、今後、レスパイトについては希望が丘と県総合の両方で同レベルで受けられるように進めていくのか。  
→重症心身障がいの方のレスパイトは、まずは一義的に希望が丘が受けて、カバーしきれない部分を県総合で、という考え方で進めている。在宅指向が強まっている流れを受けて、県総合・希望が丘いずれも在宅支援の機能を強化していく方向で進めており、将来的に希望が丘の医療レベルも上げていきたいと考えている。

### 3 重症心身障がい児者入所施設整備に向けた検討調査の中間状況について

#### ○資料説明

資料3 重症心身障がい児者入所施設整備に向けた検討調査の中間状況について

閉 会

以 上